

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-139	12-114	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学
<b>題名 (原題/訳)</b>		
The alcohol use disorders identification test (AUDIT): validation of a Nepali version for the detection of alcohol use disorders and hazardous drinking in medical settings. アルコール乱用検出テスト:医療施設におけるアルコール乱用と過度の飲酒を調査するためのネパール版の評価		
<b>執筆者</b>		
Pradhan B, Chappuis F, Baral D, Karki P, Rijal S, Hadengue A, Gache P.		
<b>掲載誌</b>		
Subst Abuse Treat Prev Policy. 2012 Oct 5;7:42.		
<b>キーワード</b>		
アルコール乱用、過度の飲酒、アルコール乱用検出テスト、ネパール		
<b>要 旨</b>		
<b>目的:</b> ネパールにおいて、アルコールは非常に大きな健康問題である。しかしながら、現在のアルコール乱用の有病率の正確な情報は明らかにされていない。そこで今回の研究の目的は、大学病院に通院する患者を対象に AUDIT (WHO がアルコール乱用を全ての面から特定する質問法で、一般的な状況で早期の介入の機会を提供するために開発された) のネパール版を評価することを目的とした。		
<b>方法:</b> 研究は横断研究であり、大学病院の外来に通院している対象者に実施された。DAS-IV の診断分類 (アルコール乱用とアルコール依存) を AUDIT の診断的パラメータを計算するためのゴールドスタンダードとした。過度の飲酒は自己申告によって定義され、男性においては1週間に21単位以上の飲酒単位とし、女性は同じく14単位以上とした。		
<b>結果:</b> 最後まで調査に参加した人は合計で1,068人であった。DAS-IVによって飲酒は3つのカテゴリに分類された。1つは全くアルコールの問題のない人 (n=562; 59.5%)、2つめはアルコール乱用 (n=78; 8.3%)、3つめはアルコール依存 (n=304; 32.2%) であった。過度の飲酒者の有病率は、67.1%であった。AUDITのネパール版は、ネパール人の集団においてアルコール乱用を有する個人を同定するために信頼と妥当性が得られるものであった。AUDITは、男女ともにアルコール依存症は11点以上、危険飲酒は男性は5点以上、女性は4点以上であった。アルコール乱用/依存のカットオフ値は、男女ともに9点以上であった。		
<b>結論:</b> AUDIT質問紙は、大学病院に通院している対象者においてアルコール乱用者を検出するための優れたスクリーニングの方法である。今回の研究では、ネパールにおけるアルコール乱用の非常に高い有病率を明らかにした。		